



議会だより

# かたしな

発行 片品村議会

No. 156

2018. 4. 20



片品北保育所 入園式

## 主 な 内 容

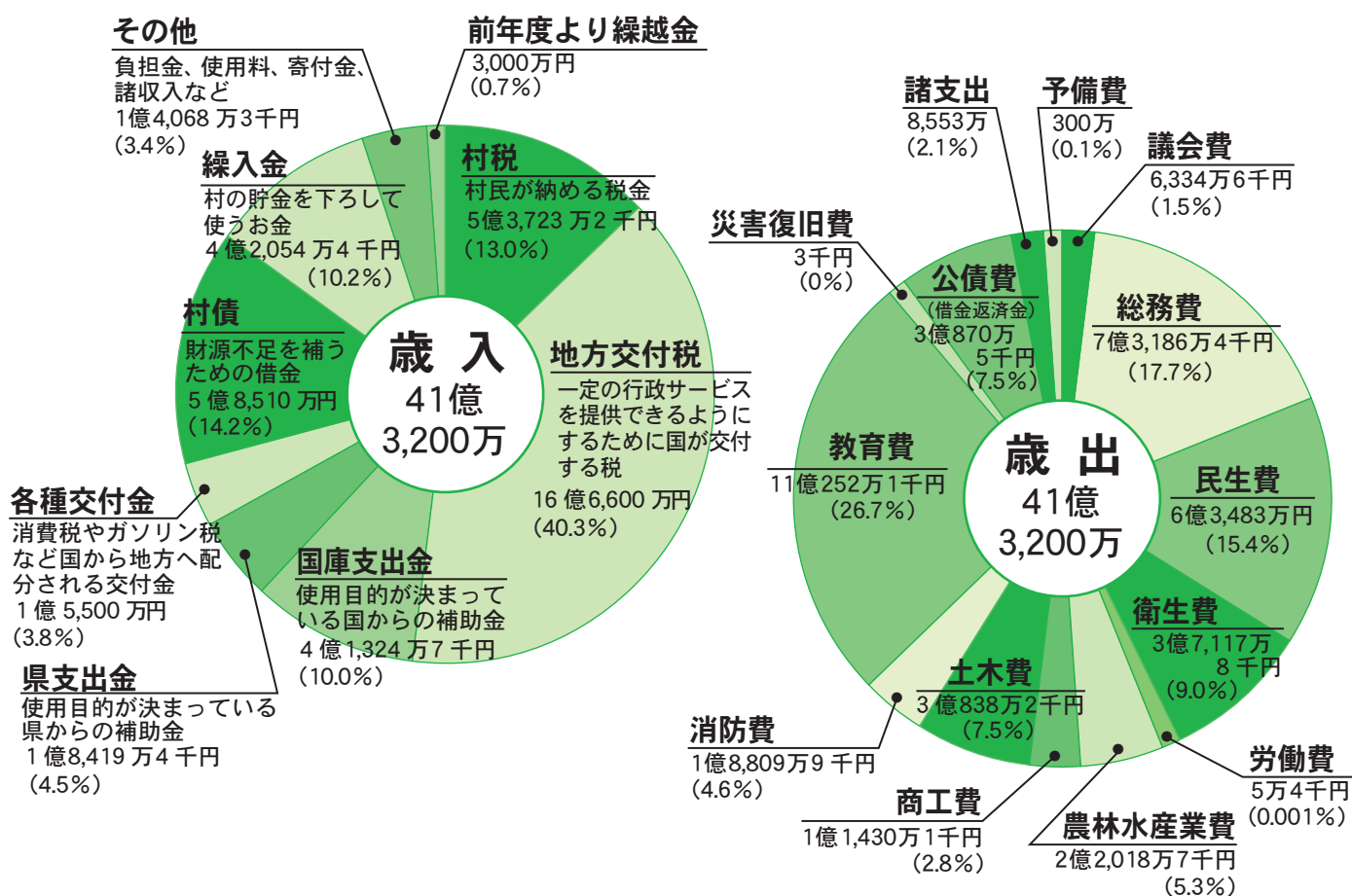
- ◆平成30年 第1回定例会（3月議会）…………… 2～4
- ◆工事請負変更契約・台湾訪問・ようこそ有権者…………… 5
- ◆一般質問・常任委員会…………… 6～9
- ◆議案内容及び議決一覧・議員OBの声…………… 10～11
- ◆中学生議会…………… 12～13
- ◆議会活動…………… 14

# 3月定例会で決まったこと

平成30年第1回片品村議会定例会（3月議会）を3月6日から13日までの8日間にわたり開催しました。平成30年度当初予算をはじめ、条例の制定や改正、工事請負変更契約の締結、教育委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦、平成29年度補正予算などが提案されました。

議会は、予算説明会、各常任委員会と本会議での審議のうえ、全ての議案を全員賛成で可決しました。

## 平成30年度一般会計予算



## 平成30年度特別会計予算

(単位：千円)

会計名	予算額	前年対比(%)	一般会計繰入金	備考
国民健康保険	799,248	90.4	45,751	
簡易水道	91,300	103.5	9,238	
観光施設事業	105,362	99.6	85,530	収益的収入のみ
介護保険	601,322	116.3	87,563	
下水道事業等	95,420	103.2	67,655	
後期高齢者医療	63,878	109.2	23,877	
合計	1,756,530	100.6	319,614	

# 平成30年度 一般会計当初予算の目玉

(単位：千円)

事業等名称	予算額	事業内容等
健康増進の推進	29,675	総合健診の内容を見直し、個別の各種検診と合わせて健康増進、保健予防の充実を図る
片品中学校改築事業	752,300	H28～H30年度の継続事業、木造平屋建て 3,258㎡本体工事、備品購入、臨時校舎管理、臨時校舎からの引っ越し費用など
全日本マスターズスキー選手権実行委員会	14,000	第43回全日本マスターズスキー選手権の開催にあたり、H30年度に設立される実行委員会に負担金を拠出するもの
大清水湿原復旧業務委託事業	10,000	鹿による食害を防ぐため、有害鳥獣防護柵整備、水芭蕉等の移植、木道の整備などを行う(委託事業)
道の駅尾瀬かたしな運営事業	16,520	H30.7月オープン予定の「道の駅尾瀬かたしな」の開業準備、駐車場・トイレの管理、食品加工所の管理運営の各委託事業

## 陳情審議結果一覧表

3月定例会において審議された陳情は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成30年 2月5日	インフルエンザ予防接種の費用一部補助に関する、陳情書	利根郡昭和村大字貝野瀬 569-1 利根沼田腎臓病友の会 会長 関上 裕明	総務文教 常任委員会	趣旨 採択
平成30年 2月14日	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める陳情	前橋市樋越町 183-4 全日本年金者組合 群馬県本部執行委員長 田村 照代 利根支部支部長 林 マツ	総務文教 常任委員会	採択
平成30年 2月14日	若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める陳情	前橋市樋越町 183-4 全日本年金者組合 群馬県本部執行委員長 田村 照代 利根支部支部長 林 マツ	総務文教 常任委員会	採択

### 意見書の提出

内閣総理大臣に『年金支給の隔月支給を毎月支給に改める意見書』『若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める意見書』を提出しました。

### 片品村教育委員会委員の任命

片品村教育委員会委員、芝崎健司氏が平成30年3月31日任期満了のため、引き続き任命することに同意を求められ、議会は全員一致で同意しました。

氏名：芝崎 健司氏 住所：越本

### 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員、入澤真理子氏が平成30年6月30日任期満了となるため、新たに推薦しました。

氏名：星野 トミ江氏 住所：土出

## 村道道路の認定及び廃止

	路線名	起点地番～終点地番	延長	幅員
認定路線	7075号線	戸倉字牛首 329-9 ～ 戸倉字並木 394-3	479.30m	7.5m～4.20m
	7076号線	戸倉字小梅 486-3 ～ 戸倉字小梅 540-2	1,034.75m	9.97m～4.00m
廃止路線	7072号線	戸倉字牛首 329-9 ～ 戸倉字小梅 540-2	1,869.05m	9.97m～4.00m

※これは、戸倉地内の牛首から小梅の村道の内、並木トンネルの部分の村道から廃止した。



# 工事請負変更契約

工事請負変更契約の締結（3件）について、原案のとおり全員賛成で可決しました。

## NO.1

- 契約の目的  
（仮称）片品村交流連携拠点施設  
新築工事（第2期）
- 契約の方法  
指名競争入札による契約
- 契約金額  
変更前：356,400,000円  
変更後：429,624,000円
- 契約の相手方  
群馬県沼田市栄町59番地4  
角屋・芝崎特定建設工事共同企業体  
代表者 角屋工業株式会社  
代表取締役 飯島千明
- 工期  
平成29年7月13日から  
平成30年3月31日まで

## NO.2

- 契約の目的  
（仮称）片品村交流連携拠点施設  
外構工事
- 契約の方法  
指名競争入札による契約
- 契約金額  
変更前：118,800,000円  
変更後：124,891,200円
- 契約の相手方  
群馬県利根郡片品村大字須賀川7番地1  
角田建設工業株式会社  
代表取締役 角田恵子
- 工期  
変更前：平成29年8月4日から  
平成30年3月31日まで  
変更後：平成29年8月4日から  
平成30年5月31日まで

## NO.3

- 契約の目的  
花の駅・片品岩盤浴施設増築工事
- 契約の方法  
指名競争入札による契約
- 契約金額  
変更前：58,644,000円  
変更後：63,871,200円
- 契約の相手方  
群馬県利根郡みなかみ町後閑84番地3  
増田建設株式会社  
代表取締役 増田安永
- 工期  
平成29年10月10日から  
平成30年3月30日まで



県知事との会談

## 片品 ↔ 台湾 トツプセールス



2月4日～7日の4日間、台湾彰化県等へ訪問しトツプセールスを行ってきました。

彰化県県知事、埔心郷郷長との会談では、今後の交流のありかたを話し合い、お互いの文化、歴史、語学などを通じた学生間の交流を進めるとともに、観光交流も一層活性化させていくことを確認しました。

また、大興旅行社台中支店、喜鴻假期高尾支店、日商東武鐵道台北分公司の旅行会社へ訪問し、尾瀬のハイキング、天王桜、水芭蕉群生地、天然温泉、日光尾瀬エクスプレス号を活用した首都圏からの周遊、秋の紅葉、パウダースノーなど四季を通じた観光の多様性や体験の豊富さなどを紹介しセールスを行いました。



旅行社にて

Welcome  
ようこそ

ゆう けん しゃ  
有権者

有権者になって

元尾瀬高等学校生  
(平成30年3月1日卒業)

千明 菜緒 さん



私は、昨年の12月に18歳の誕生日を迎え有権者になりました。自分の持つ一票が片品村、日本の未来を決めるものだと思うと、責任を感じます。

自分の意見をしっかり持ち、片品村がよりよい村になるために、選挙に参加し、一票を無駄にしないよう投票に参加したいです。

私は、今年の4月から専門学校に通うため、初めて片品村を離れます。

現在の片品村は、少子高齢化が進んでいる状況です。私は専門学校卒業後、片品村に戻ってきて働きたいと思っています。私のように片品村に戻って働きたいと思う人が増えるように、はげ盛りなどのおもしろいイベントを増やして片品村の魅力を多くの人に伝えられたらいいと思います。さらに、片品村への移住者が増えてにぎやかな村になってほしいと思います。

# 村政を問う！ 一般質問



入澤登喜夫 議員

**問** 少子高齢化に対して具体的な対策を、村としてどう考えているか聞きたい。

**答** (村長)

少子化対策と致しまして、平成24年度から不妊治療費助成事業を行っておりますが、平成28年度からは、治療費に対する助成率を引き上げるとともに、1人につき5年間で50万円としていた助成金を、年間の上限を200万円とした上で、何年でも利用できるように改正しました。この年間限度額200万円というのは、県内で最も高いものとなっております。

また、第3子以降の出産



生後一ヶ月の赤ちゃん

祝い金30万円、「片品子育てブック」の作成、無料で利用できる尾瀬放課後児童クラブの設置、お母さん達と協働で進めている「プレイパーク」の開催など、出産や育児の支援、負担の軽減を図っております。

高齢化対策と致しましては、特定保健指導・糖尿病重症化対策・国民健康保険の事業などで開催している各種の講演や教室をより充実させ、今まで以上に生活習慣病や認知症などの予防を進めるための事業を、強化していきたいと考えております。

その他にも、介護サービスの充実、高齢者の交通機関利用に対する支援、毎年お年寄りが楽しみにしている

る敬老会の継続的な開催など、村民一人ひとりが、いつまでも笑顔で暮らせる村づくりに努めたいと考えております。

**問** 不妊治療の費用は高額であるが、現在利用件数はどのくらいあるか。

**答** (村長)

今年度は、2件で7回の申請がありました。

**問** 村長の公約の中に人口減少と高齢化社会への対応として、「村民の健康増進を進める健康教室の開催」が示されているが、具体策はあるか。

**答** (村長)

3月中に、村民対象の健康教室を3回開催します。3月15日「心の健康づくり講演会」、28日「母子保健講演会」、30日には、「健康づくり講演会」として「スローエアロビクスと効果的な歩き方」を開催します。

また、5月には総合健診に向けた健康づくりとして「ウォーキング教室」の開催を検討中でございます。

春に集中して行う目的の一つは、総合健診時に行う特定保健指導の対象者の減少及び、重症化対策の強化

でございます。もう一つの目的は、年齢層にとらわれず、様々な題材を提供し続ける事が、健康づくりへの興味を持つきっかけと考えるからでございます。

今後も、村民の皆さんが健康で安心して暮らせる村づくりを目指して各種の事業に取り組みたいと思います。

**問** 新規定住者の確保と空き家利用についてどのような考えがあるか。

**答** (村長)

新規定住者の確保につきましては、「住まい」と「仕事」の情報を収集し、広く発信していくことが最も重要な施策だと考えております。

そこで、村では「住まい」と「仕事」を紹介する「片品村空き家&仕事バンク」というサイトを運営しております。現在のサイトへの空き家物件の掲載数は、契約済みも含めて30件で、サイト運営当初からの契約実績は32件となっております。

仕事情報の掲載数は9件で、サイト運営当初からの契約実績は2件でございます。

以上の実績から、これらの施策も新規定住者の確保と空き家利用について、一



空き家バンクに掲載されている物件

定の効果を上げていると考えられますが、現状の課題として「すぐに住める空き家」の数が圧倒的に不足しております。

定期的に広報や回覧板・防災無線等で空き家情報の提供をお願いしておりますが、なかなか情報が集まらないのが現状です。

そこで、空き家物件の情報収集を強化するため、地域のみなさんにご協力をいただきたいと思いますと考えております。

具体的には、各地区に空き家物件が何軒あるかを調べていただき、その情報を役場の担当課までご提供いただきたいと思いますと考えております。ご提供いただいた情報

を基に、担当課で各地区の空き家情報を整理し、リフォームや修繕等の必要がなく、すぐに活用できる可能性の高い空き家については、所有者の方に直接ご連絡させていただき、個別に調査、相談をさせていただきながら、さらなる空き家の活用について推進していきたいと考えております。

**問** 少子高齢化による人口減少に伴い、世帯数の減少が進む中、地域の今後の運営と対策について、村はどのように考えているか。特に「組」の運営について考えがあるか。

**答** (村長)

本村の人口は、国勢調査の結果によりますと、平成22年は4,904人でしたが、5年後の平成27年には、4,390人になり、5年間で514人減少しています。

また、世帯数につきましては、平成22年は1,677世帯でしたが、5年後の平成27年には、1,554世帯になり、5年間で123世帯減少しています。村では、このような人口減少に少しでも歯止めをかけるため、

第4次片品村総合計画、片品村むら・ひと・しごと創生総合戦略、尾瀬の郷片品村人口ビジョン等に基づいて、各種施策・事業を行なっておりますが、人口減少に歯止めをかけるには至っておりません。しかしながら、今年度も、来年度も、再来年度も地域は存続し、そこには、4,000人を超える村民が暮らしているわけであります。

地域が未永く続いていくために、行政は在るのだという信念を持って、決断と実行を心掛け、常に将来を見据えて、子や孫の世代に課題を先送りすることなく、この問題に取り組んで参りたいと考えております。

さて、このように、少子高齢化による人口減少に伴い世帯数の減少が進む中、地域の今後の運営と対策について村はどのように考えているか。特に「組」の運営について、でございますが、議員、ご承知のとおり、行政区の組織、役割等を明確に定め、片品村と地域住民との意思の疎通を円滑にし、村政運営がより良く行われることによって、住民

が暮らしやすい村にすることを目的といたしまして、「片品村行政区の設置及び組織に関する規則」が制定されております。

規則では、「本村に8の行政区を置き、下部組織として32の組を置く。」と、定められております。

そして、区役員として、「区に区長及び区長代理を置き、組に組長を置く」となっております。その職務として、「区長は、区の代表者であり区を統括する。区長代理は、区長を補佐し、区長に事故あるときはその職務を代理する。組長は、域内の住民を把握し、他の役員とともに区の事務に当たる。」と定めてございます。人口減少や世帯数の減少、また、高齢化により、区役員の担い手が不足し、地域によっては、組長を2回あるいは、3回経験する「組」も在る、という話も伺っております。

また、村では、区役員以外にも、600人ほどの方々に非常勤の特別職の職員として、お世話になっております。そのほかにも、地域にお

いては、任意の団体の役員等も数多くあると思います。年々、人口や世帯数は、減少しておりますが、役員等の人数は、減少していかないのではないかと推察しております。

このため、今までに比べ、地域の役員の方々の負担が一層大きくなっているのではないかと感じております。

このような課題を克服するために、役場職員はもちろんでございますが、村民一人ひとりが地域の現状や将来について関心と当事者意識を持ち、何が問題か、何が必要かを考え、自分たちで判断しながら、自分たちでできることを実践行動していくことが求められるのではないのでしょうか。

そのために、行政は何をすべきか？ 何ができるのか？ しつかりと考えたいと思えます。

先の議会定例会でも申し上げましたが、私は、片品村を取り巻く、数多くの課題を克服するためには、村民参加型による村政の進め方が最も重要であると思っております。

与えられた任期の1年1年が勝負であると心に言い聞かせながら、村民と皆様と共に対話をしながら、決断、実行し、「ふるさと片品」を創りあげて行きたいと考えております。

**問** この問題については、特にとどの地域も苦悩している現状を理解していただき、「組」の運営に関する検討委員会や作業部会の設置等を早急に検討していただきたい。

**答** (村長)

「組」の運営に関する検討委員会や作業部会の設置等について、でございますが、議員のご提案のとおり、これからの「組」の運営につきましてでは、現在の区役員の皆様を始め、関係者の皆様、また、地域の皆様など、様々なご意見をしっかりと伺い、今後のあり方について検討して行く必要があると考えています。

そのためには、この問題について検討を進めるため、検討委員会あるいは、作業部会のような組織を設置することも考えていきたいと思えます。

# 討議しました

## 総務文教常任委員会

### 協議事項

一、陳情について

【第1号】

インフルエンザ予防接種の費用一部補助に関する陳情

意見

60歳以下の透析患者もインフルエンザ予防接種の補助をお願いしたいというものです。透析患者はインフルエンザを発症すると重症化しやすく、通院日数も多く不自由な生活をされています。

一方、他の病気を患い、つらい闘病生活をされている村民の方もいます。

利根沼田腎臓病友の会には、毎年、補助金が支出されているので、効率的に活用していただきたい。これは、利根沼田地域全体の問題として、さらに検討する必要があることから趣旨採択とする。

【第2号】

年金支給の隔月支給を毎月支給に改める陳情

意見

高齢者の生活も月単位で送っていることから、その生活に合わせるよう年金支給日を隔月から毎月支給にし、安心して高齢期を送れるようにすることが重要であることから、本陳情の趣旨を理解し、国に対して意見書を提出するべきであるとして、全員賛成で採択とする。

【第3号】

若い人も高齢者も安心して暮らせる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める陳情

意見

「基本的な生活を支える」最低保障年金制度を創設し、無年金者、低年金をなくし、健康で文化的な最低限度の生活を送る権利を保障する



ための施策として重要なことから、本陳情の趣旨を理解し、国に対して意見書を提出するべきであるとして、全員賛成で採択とする。

二、所管事務について

問 出納室、群馬銀行の撤退によるサービスの低下について

答(会計管理者) 4月から群馬銀行の派出が撤退しますが、村民に対する窓口業務のサービスの低下をまねかないように努めます。

問 村民運動会の開催時期は決まったか？

答(教育委員会事務局長) 関係者と協議した結果、来年度は、平成30年9月17日曜日、予備日なしで開催することになりました。

問 高齢者の運転免許証返納後の移動対策及び病院、買い物弱者の対応はどうか？

答(保健福祉課長) 敬老バスカードの購入補助や、花咲線のデマンドバス及び関越バスについて村内は無料となっています。医療機関への通院にはタクシー券の半額補助なども行っています。 買い物の対応は要介護者についてはヘルパーさんが買い物をしてきてくれるサービス、要支援者と身体障害者の方には福祉有償運送を活用していただいています。



有償運送

(委員長 高山悦夫)



# 委員が慎重に

## 観光産業常任委員会

### 協議事項

一、平成30年度予算  
について

**問** 日光尾瀬かたしなエクス  
プレス号の運行するののか？

**答**（むらづくり観光課長）  
新年度も運行する予定  
です。

**問** 30年度予算の主要事業  
はどんなものか？

**答**（農林建設課長）

有害鳥獣対策として、電  
気柵の購入補助、狩猟意欲  
を高めるための有害鳥獣の  
捕獲奨励金です。

農業振興では、トマトセ  
ンターの処理能力が大幅に  
上がるため、栽培用のパイ  
プハウスの補助と3地区の  
水槽の整備です。

土木関係では村道の除雪  
体制の一層の充実を図るた  
め、除雪車1台を購入する  
予定です。

その他、地区要望に対応  
するため村道の維持修繕工  
事を予定しています。



畑に設置した電気柵

**答**（むらづくり観光課長）

7月に道の駅をオープン  
させるための準備として植  
栽工事とロードサイン、各  
種看板の設置、直売所の準  
備やショーケース、レスト  
ランの家具、村民キッチン  
の調理器具などの整備と、  
道の駅に来ていただいたお  
客様に喜んでいただけたよ  
うな特産品を活用した料理  
の提供、新鮮な農産物の大  
量陳列、新たな加工品の開  
発及び販売、また、オープ  
ンしてからのオペレーショ  
ンが円滑に進むような方策

を考えています。

観光振興事業につきまし  
ては、鹿による被害でミズ  
バショウなどの尾瀬に生息  
する草花を失ってしまった  
大清水湿原を復活させるた  
め、平成30年度で鹿の侵入  
を防ぐ防護柵と、腐りかけ  
てしまった木道の整備を行  
います。

二、所管事務について

**問** 技術系職員の業務に必  
要な資格取得について

**答**（農林建設課長）

県の建設技術センターへ  
職員を派遣するなど専門知  
識を習得しています。

**問** 村内天然記念物等、周  
辺の施設整備について考え  
はあるか？

**答**（むらづくり観光課長）

三区内の天王桜の駐車場  
周辺整備の検討や、ザゼン  
ソウ群生地は必要に応じて  
の木道の現物支給を考えて  
います。

**問** 外国人観光客の受入体  
制の対応は？

**答**（むらづくり観光課長）

観光パンフレットや観光  
協会のホームページの多言  
語化を行い対応しています。  
道の駅の総合案内所には、  
村を訪れた外国人観光客に  
村内外の観光地などを広く  
周知できるように準備を進  
めています。

**問** 目黒区の目黒区民まつ  
りの参加方法をどのように  
考えているか？

**答**（村長）

観光協会、むらづくり観  
光課主導で参加することを  
考えています。

議員の皆さんには、イベ  
ントに参加するのではなく  
違う方法で交流を深められ  
るよう検討していただけれ  
ばと思います。

（委員長 千明 勉）





議案番号	議案内容	議決結果	議員名									
			千明 勉	後藤 眞平	萩原 正信	高山 悦夫	星野 栄二	星野 精一	星野 逸雄	今井 功	入澤登喜夫	
議案第21号	平成29年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成29年度片品村介護保険特別会計補正予算(第3号)について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成29年度片品村下水道事業等特別会計補正予算(第3号)について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成29年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成30年度片品村一般会計予算について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成30年度片品村国民健康保険特別会計予算について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成30年度片品村簡易水道事業特別会計予算について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成30年度片品村営観光施設事業特別会計予算について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	平成30年度片品村介護保険特別会計予算について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成30年度片品村下水道事業等特別会計予算について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成30年度片品村後期高齢者医療特別会計予算について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	片品村福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	インフルエンザ予防接種の費用一部補助に関する、陳情書	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める陳情	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める陳情	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める意見書	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第2号	若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める意見書	全会一致 原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 先輩議員からのひと言

きんいち  
戸丸 俊一 さん(花咲)

### 「小さな村づくり」

議員任期 昭和62年4月～平成3年4月

バブルの時代、そしてバブルの崩壊そんな時代でした。子供達の人数も多かったです。そのため、保育所に入園できないお子さんもいました。議会の後は皆でよく飲みに行き、片品村の将来の夢を語り合えたことは良い思い出となりました。

今は人口も減りました。議員は当時の2/3ほどになつていますが、減らないのは村の予算と職員の数。人口を増やすのは無理な話でしょう。

小さな村づくりが必要でしょう。人口が減るのは目に見えていきます。

今私は70歳になろうとしています。年をとつても楽しい村づくり、人の手を借りなくても生活できるような村づくりが必要で、国民年金で生活できるようにするには、例えば80歳以上の方は共同生活が出来るような施設があれば元気な方が世話をし、最低限の費用で暮らせませます。様々な思いを持って議員の方々も活動してください。



# 中学生議会開催 report.2

## ～中学生議会に参加して～

# 感想文



①私は中学生議会で、あらためて片品村が抱えている問題を考えることができました。少子化を含めたくさんの問題がある片品村に何かよい提案がないか真剣に考えたことで、より片品村の良い所や悪い所たくさんの事を知ることができ、将来片品村を担うかもしれない私たちには貴重な体験となりました。

私は将来片品村に住む事は全く考えていませんでした。でも、この中学生議会をして、自分たちの手でもっと活気があふれた片品村に変えその変化をこの目で見てみたいとも思いました。

どこへ行くにも、車は必須、冬は雪がたくさん降って大きなスノーパーまで片道40分程度かかり、最寄り駅は最寄りなほど田舎だけど、空気がきれいでみんながあつたかくて協力がはどこよりも負けない片品村なら、これからいくらでも変わるんじゃないかと思えます。

この中学生議会で学んだこと、議場でやらせて頂いたことに感謝し、それを活かしてこれからの生活に役立てたいです。

②村にとつて必要なことや大切なことをみんなが考えたことで、村への理解が深まりました。そして、自分が思っていた以上に村が抱えている問題は大きいものだと感じました。これからは、これらの問題をもっとよく理解したうえで改善策を見つけていけたら良いと思います。そして、人々が暮らしていて住みごちのよい村に私たち自身で決していく必要があり、自分で出来ることを少し

ずつでも実行していこうと思えます。そうした心がけによつてこの村がさらに良い村になることを願っています。

③「親も子どもも楽しく子育て」をコンセプトとし、私たちはどのようにしたら片品村の少子化問題に歯止めができるかを中学生議会に向けて班のみんなで作りました。最初はアイデアを出すのも難しく、先生方に相談しながらでしたが、だんだんと班のみんなが「よしよし」の考えを出して、よりよい提案をつくることができました。

本番である中学生議会では、梅澤村長さんが私たちの提案一つひとつについて丁寧に答えてくださって3ヶ月間一生懸命考えてきて良かったなと思えました。

今回のこの学習を通して、私は片品村を人口増加させるにはたくさんの視野から考えることが大切だと思いました。子育てだけでなく福祉があり、防災があり、観光、産業があることで人口が増加するのだなと思いました。中学生議会では本当に貴重な体験でした。



④片品村にもっといいと思つてもらえるよう、盛り上がるイベントを提案して、村長さんは「素晴らしい案」と言っていました。それを聞いたときは、班全員で考えた方がいいがあつたなと思えました。しかし、ただ私たちの案を「良いね。採用。」とはせず真剣に考えていただいたからこそ、私たちの案を実施することへの欠点や、不要な部分、大変なこと見つかりました。プラスの面を求めれば必ずどこかにマイナスがあつたかと思つていました。私は、今回の経験はとても貴重だと思えます。自分の住んでいる地域をより良く発展させるために、同じところに住んでいる人と話し合つて、理解を深めて

いくことはこれから選挙権をもつことによつて政治がもっと身近に感じてるので、大切だと考えます。

私たちが村の人が、片品村をどんな風にさせたか考え続け、少しずつ実践していけば、この村は廃れないと思います。

⑤今回の中学生議会を通してたくさんのことを学ぶことができました。また僕たち中学生にはなかなか経験することのできないよい体験をすることができました。

片品村について深く考えたことがあまりなかったけれど、今回の議会でたくさんのことを考え知ることができました。自分たちの班の提案したイルミネーションの案では、「SNS関係を使うことはとてもいい案なので」と村長が言っていたので採用を少し期待する部分もありました。もし、一部分でも採用されたら嬉しいなと思えました。

僕は今回の議会で共に村のことを考え、共に作つていくという意識が高まったのでよかったです。これからは少しそういう所も考えて生活したいです。

⑥ 私たち自身が片品村について調べ、どうしても良い村になるかを班になり考えを深めていくことで、私たちが自身が片品についてより知ることができました。

班に分かれての提案をしました。他の班の提案や村長の回答を聞いて片品の現状を知ることができ、また私たちが片品村を支えていかなければならないと思いました。私たちがよりよい村にしていくために一人ひとりが考え行動しなければならぬと思いました。

⑦ 私たちの班は、子供の遊び場が充実していないことから公園の充実化について考えました。はじめは、充実した公園の設置などを考えましたが、班で話し合いをしているうちにお金の問題や場所の問題などさまざまな問題が出てきました。どうしたら問題を解決しつつ安全で、楽しい遊び場を確保できるかなどたくさん話し合い、考えたことで提案を作ることの難しさを学びました。

私たちの班は公園の建設以外で、各地区の奉仕作業で公園の整備を考えました。この提案をした

ことから、私自身も子供たちの遊び場を確保する一員になれると思つたので、これから積極的に区の奉仕作業などに参加していきたいと思えます。

議会では、しっかりと提案することができたとおもいます。私たちの提案を役場の方々が一生懸命答弁してくださってとてもうれしかったです。議会を終えて、私は私の住んでいる村について知らないことがたくさんありました。これからはもっともつと村のイベントや活動に積極的に参加して片品村を他の地域の方々に伝えたいです。

⑧ 主に、高齢者の方々についでに提案をしました。村の少子高齢化の現状や村の対応などを中心に調べた時、自分ではなんとなく今の村の現状を把握していたつもりでしたが、実際に調べて具体的な数値などを見ると自分の知らなかったことばかりで驚きました。と同時に、それらの問題に興味を持つこともできました。提案する内容を決めるときは、実際に調べたデータをもとにみんなで行ういろいろなアイデアを出し合うことができました。様

々なアイデアが出て自分達の村がよりよくなつていく様子を考えてみたときは、とても楽しく思いました。実際に議会で提案したとき、いまいち採用してもらえず、もう少し文を変えればよかったなどと悔しい気持ちもありましたが、とてもよい経験になったと思えます！

⑨ 中学生議会がなければ片品の観光の現状について調べたり、資料をまとめて議会で提案するとうり機会もなかったのですが、今回でしっかりと議会に向けて準備をしてまとめて発表する経験ができてよかったです。



また、今回学んだことを生かして、片品村の村民として自分に何ができるか考えるきっかけにもなつたので良かったです。私は、片品村の観光の現状を知って、片品村は年々観光客数が減ってきていることやそれに対し、片品村も対策としてバスの運営の活性化などを実施しようとしているとのことだったので、将来その事業に参加して片品村を魅力のある活気づいた村にできるようにできたら良いと思えました。

⑩ 僕は今回の「片品を提案する」という学習で村への関わり方について多く学ぶことができました。僕たちの班は、片品の中心的な地域である鎌田地区の活性化をテーマにしました。片品は15年間暮らしてきました。その中で僕たちは鎌田が活性化すれば村は変わっていくのではと思ひこのテーマにしました。

僕たちは調べ学習していくうちに、鎌田地区から片品の現状を知ることができました。そして、中学生議会が始まると僕は他の班の提案を聞きながら、本当の村への関わりつてこういうことなん

だなど感じました。片品の現状を表面的だけでなく、それに対する解決の案を具体的に考え、それをうまく伝えて、伝える側はその案を尊重し続けていくことが村を変えることの大切だということを中学生議会で学ぶことができました。

⑪ ネットを活用した宣伝活動について提案するために片品村で今やっている宣伝活動や宣伝法について色々調べ、今まであまり見たことのなかった片品のホームページなどを見て、新しいことを沢山知ることが出来ました。また、自分達で考えたことを村に提案出来たのはとても新鮮で良い経験が出来て良かったと思ひました。それから、他の班の発表を聞いていて色々な視点から片品に必要なことを考えていて、ほとんどが初めて知ることだったのでとても勉強になりました。

議会を体験してみて、様々な問題を普段から考えて行動に移している村長さん達は、とても大変で難しい役目なんだなと思いました。

今回の中学生議会通过して片品村の長所や短所について初めて知ること色々知り、片品のことについて今までよりもっと知りたいと思うようになりしました。また、片品について色々な視点から考えることが出来るようになったと思います。

⑫ 私は普段、片品のことを深く考えずということはありませんでした。ですが、中学生議会に向けて片品の産業を調べていく中で、片品村の産業は今どのような状況なのかどのような取り組みをしているのかなど現状を知ることが出来ました。観光客を増やすためには、どのようにしたらいいか片品村のことをより多くのの人に知ってもらうためには、どうすればいいかなどとみんなで話し合い、考えたことで片品村の将来に大きく関わる私たちが、片品村について考えるというのはとても重要だということも学びました。

これからは、今まであまり考えたことがなかった片品村について、しっかりと考えるようにしようと思ひました。

## 議会活動日誌

- 1月** 24日~26日 第52回冬季交歓会
- 2月** 4日~7日 台湾トップセールス  
15日 片品村の上下水道、学校給食センター、観光施設事業、国保、介護保険の各運営協議会（委員会）  
20日 利根東部衛生施設組合議会  
22日 議会運営委員会  
” 議会全員協議会
- 3月** 6日 第1回議会定例会開会  
” 議会全員協議会（補正・当初予算説明会）

- 3月** 7日 議会全員協議会（当初予算説明会）  
” 第1回議会広報編集特別委員会  
9日 総務文教常任委員会  
” 観光産業常任委員会  
13日 片品中学校卒業証書授与式  
” 第1回議会定例会閉会  
20日 区対抗スキー大会  
” 国道120号金精道路除雪状況視察  
23日 片品小学校卒業証書授与式  
29日 各保育所卒園式
- 4月** 5日 各保育所入園式  
” 行政区役員会議  
9日 片品小学校入学式  
” 片品中学校入学式

発行

片品村議会

責任者

千明

道太

編集

議会広報編集特別委員会

印刷所

笠原印刷(有)



片品小学校卒業式



片品中学校卒業式

## かたしな フォトギャラリー



金精道路の除雪

### ○傍聴のお知らせ

**6月議会を傍聴しませんか！** 次回定例会は、6月8日（金）の予定です。  
一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答（全文）は片品村公式ホームページ（HP）にて閲覧できます。HP掲載写真はフルカラーです。  
URL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 入澤登喜夫  
副委員長 星野 栄二  
委員 千明 道太  
委員 萩原 正信  
委員 後藤 眞平

編集委員長 入澤登喜夫

2018スキーシーズンも終了し、スキー場のお客様も前年比105%という数字が出ています。まだまだ厳しい状況であることが認識しております。2月から3月にかけて開催された平昌オリンピック・パラリンピックでは日本の選手の活躍に元気を貰うことが出来、今後のウィンタースポーツの益々の発展を期待したいところであります。さて、3月定例会議が終了し、提案された議案も全て議決され新年度がスタート致しました。新年度予算は国の財政措置に大きく影響され、地方交付税については当初予算から20%の減額予算となっており、本村への影響も否めないところであります。村の財政もまだまだ厳しい状況ではありますが、国の補助制度等を最大限に活用し、村への負担軽減を進め、これからの教育・福祉の充実と産業の発展及び人口減少の対策へと繋げていき、豊かな村となることを期待します。

### 編集後記